

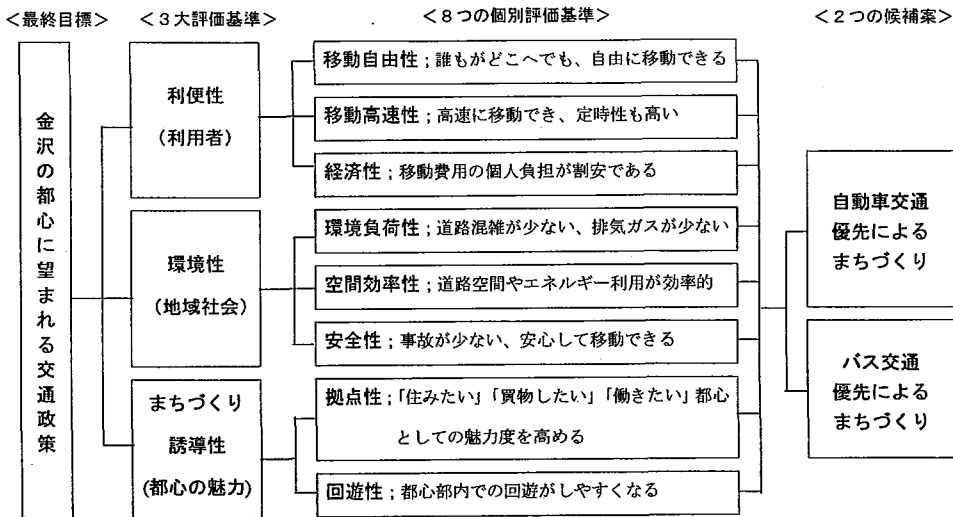
4. AHPアンケート結果

(2) アンケートの概要

■最終目標 「都心部の活性化を図る上で、都心部へのアクセス及び都心部に望まれる交通政策は自動車優先のまちづくりとバス優先のまちづくりのどちらか」

■AHPとは ◇毎日が意志決定の連続であり、評価基準が複雑になるほど、多くなるほど悩んでしまい、決定できないことがよくあります。
 ◇AHPはこのような場合、どの評価基準に重きを置くのかを決めていくことで、最終的に定量的な決定を行う理論です。
 ◇まず問題の要素を最終目標・評価基準・候補案の階層に構造化します。
 ◇次に一対比較による重み付けを行い、最終目標から見た候補案の総合的な重みを定量的に求める理論です。
 ◇「第3者への説得」「合意形成」「重要度の評価」等、その利点は多く、様々な分野で活用されています。
 ※ゲーム感覚の階層化意志決定法 (Analytic Hierarchy Process の略)

■問題の構造



■まちづくり候補案

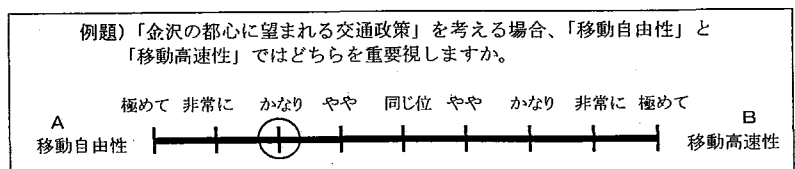
<前提条件> - 10年後の交通まちづくりを考えて下さい-

- ①外環状道路は一部整備
- ②県庁は駅西に移転を完了、跡地には平休日を問わず2,000~3,000人規模の集客施設が立地
- ③新交通システムは未整備

候補案	自動車交通優先のまちづくり	バス交通優先のまちづくり	
考え方	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車を持つドアツードア性や車内の快適性等から、生活の足として必要不可欠なものとなっている ・今後は自動車走行の優先権を高めたり、駐車場の利便性を高めるなどして、自動車中心のまちづくりを進める ①バスレーンの短縮や不採算路線の廃止等により、自動車の走行性を向上 ②渋滞交差点にて右折レーンを確保し、円滑化を図る ③既存駐車場の有効活用を図る ④駐車場の整備拡大 	<ul style="list-style-type: none"> ・都心部では道路の拡幅等に限界があり、これまでの自動車中心の考え方では慢性的な渋滞の解消が困難 ・輸送能力に優るバス(最大乗車人員85人)を都心部へアクセスする中心的手段と考える ・都心部内の移動も、バス利便の向上により確保する ①バスレーンの強化や右折レーン整備等により、バスの定時性・高速性を向上 ②パーク&バスライドを充実し、バス空白地域を解消 ③ふらっとバスや車両低床化等により、人へやさしく! 	
個別施策案	道路空間の使い方	<ul style="list-style-type: none"> ・道路渋滞が激しい道路でのバスレーンの短縮 ・不採算路線の廃止等 	<ul style="list-style-type: none"> ・バスレーンの延伸・終日化や取締りの強化 ・パーク&バスライドや快速バスの拡大 ・ふらっとバス(小型車両)の増発、車両低床化の推進 ・環境定期券や買い物割引券の導入等、運賃体系を多様化 ・行政の支援により、必要な不採算路線を存続
	バス交通整備	<ul style="list-style-type: none"> ・渋滞交差点の改良による右折レーンの整備 ・都市計画道路橋場若宮線の整備 	<ul style="list-style-type: none"> ・バス路線沿線交差点での右折レーン整備(困難な場合は右折禁止) ・バス停や歩行空間、自転車走行空間の整備
	道路整備	<ul style="list-style-type: none"> ・共通駐車場割引券制度の拡大 ・駐車場案内システムの拡充 ・小規模駐車場や未利用地を集約し、駐車場を拡大 	<ul style="list-style-type: none"> ・郊外でのパーク&ライド駐車場の整備 ・サイクル&ライド駐輪場の整備
	駐車場の整備		

■例題と記入の仕方

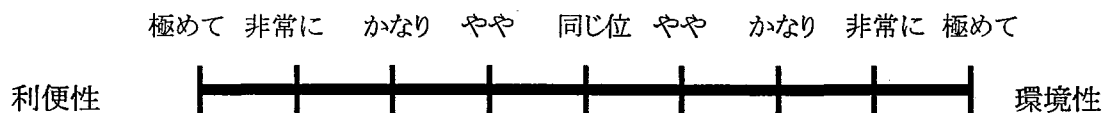
◇例題のように、「A」と「B」ではどちらを重要視しますか、といった具合に一対比較の質問をします。回答は、目盛りの該当する箇所に○を記入して下さい。
 ◇例題では「移動自由性」が「移動高速性」に対して「かなり重要」と考えた場合です。



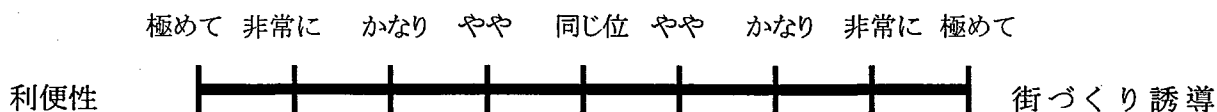
AHP アンケート回答用紙

1. 「金沢の都心に望まれる交通まちづくり」を考える場合、3大基準間の重要性をどのようにお考えになるか、お伺いします。

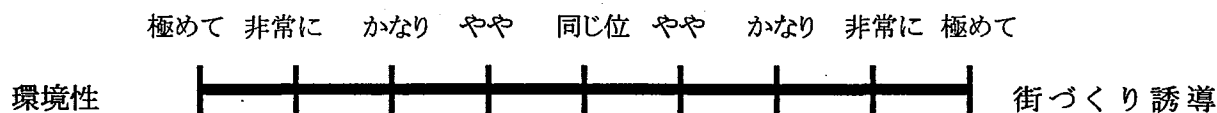
① 「利便性」と「環境性」ではどちらを重要視しますか。



② 「利便性」と「街づくり誘導性」ではどちらを重要視しますか。

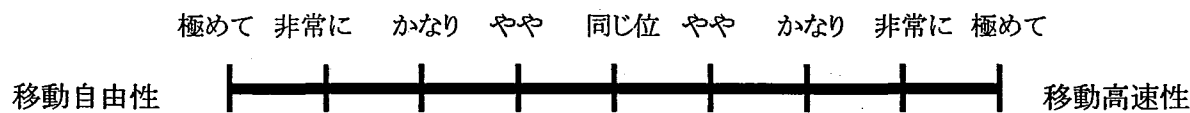


③ 「環境性」と「街づくり誘導性」ではどちらを重要視しますか。

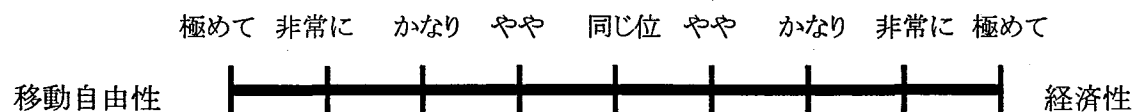


2. 評価基準同士の重要度をどのようにお考えになるか、お伺いします。

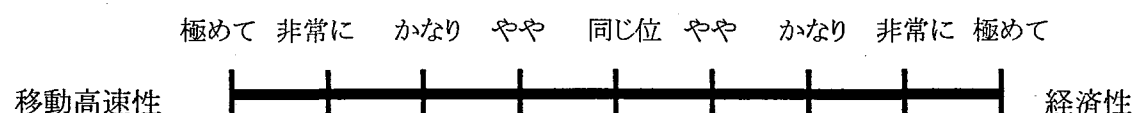
① 「利便性」について「移動自由性」と「移動高速性」ではどちらを重要視しますか。



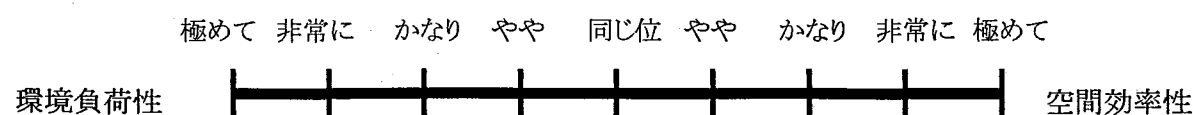
② 「利便性」について、「移動自由性」と「経済性」ではどちらを重要視しますか。



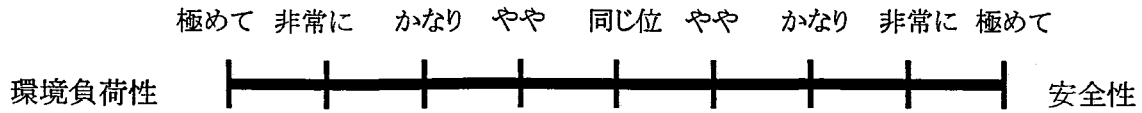
③ 「利便性」について、「移動高速性」と「経済性」ではどちらを重要視しますか。



④ 「環境性」について「環境負荷性」と「空間効率性」ではどちらを重要視しますか。



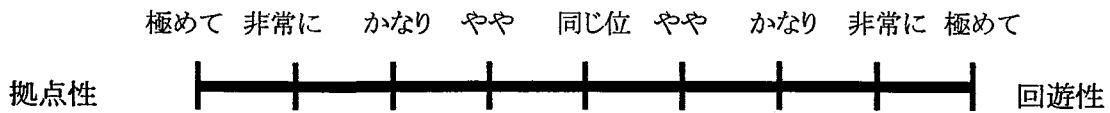
⑤「環境性」について「環境負荷性」と「安全性」ではどちらを重要視しますか。



⑥「環境性」について「空間効率性」と「安全性」ではどちらを重要視しますか。

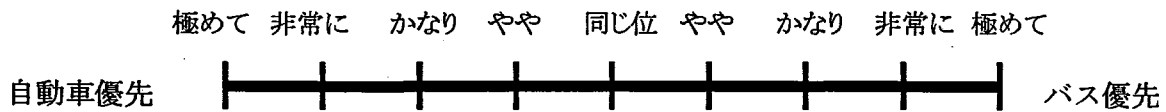


⑦「街づくり誘導性」について「拠点性」と「回遊性」ではどちらを重要視しますか。

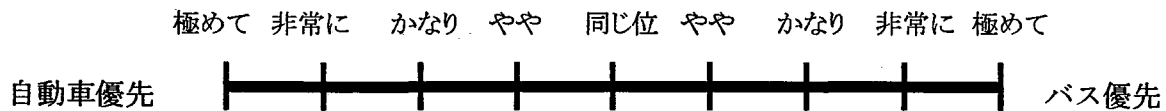


3. 各評価基準の観点から、「自動車優先のまちづくり」と「バス優先のまちづくり」ではどちらが優れているとお考えになるか、お伺いします。

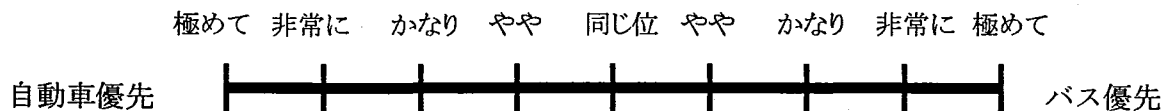
①「移動自由性」について、どちらが優れていますか。



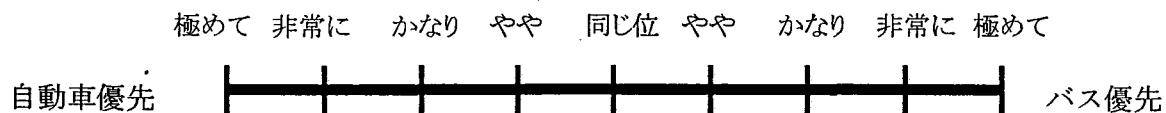
②「移動高速性」について、どちらが優れていますか。



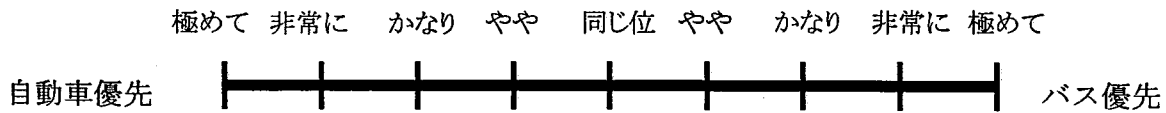
③「経済性」について、どちらが優れていますか。



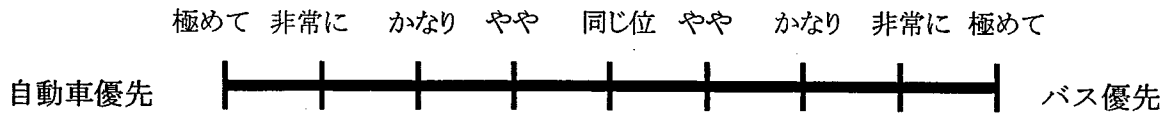
④「環境負荷性」について、どちらが優れていますか。



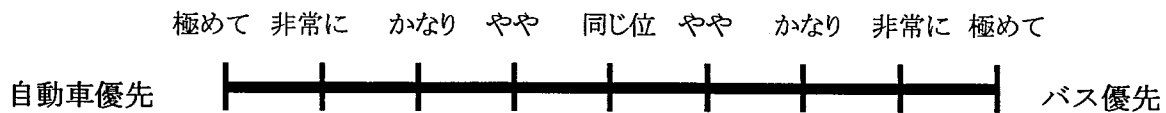
⑤「空間効率性」について、どちらが優れていますか。



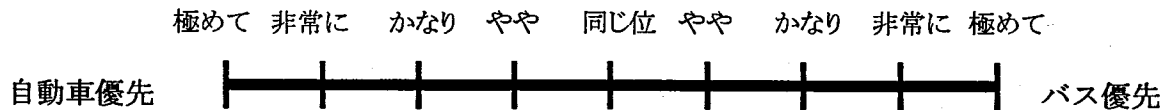
⑥「安全性」について、どちらが優れていますか。



⑦「拠点性」について、どちらが優れていますか。



⑧「回遊性」について、どちらが優れていますか。



⑨あなたは「自動車優先の交通まちづくり」「バス優先の交通まちづくり」のどちらが今後の政策に必要であると率直に思いますか。

1. 自動車優先の交通まちづくり 2. バス優先の交通まちづくり
3. その他 [_____]

4. あなた自身について、伺います。該当する番号に○をつけるか、[]内に回答をご記入下さい。


①性別 1. 男 2. 女

②年齢 1. 10代 2. 20代 3. 30代 4. 40代 5. 50代 6. 60歳以上

③職業 1. 会社員 2. 公務員 3. パート・アルバイト 4. 大学生 5. 高校生
6. 専業主婦 7. その他 [_____]

④勤務地・通学地（専業主婦以外の方は、ご記入下さい）

※町名までお書き下さい

[_____]  [_____]

⑤普通乗用車の免許証 1. 持っている 2. 持っていない

⑥自分の自由になる乗用車 1.持っている 2.持っていない

⑦日常、最も頻繁に外出する目的と、その時に最もよく利用する交通手段は何ですか。

<目的> 1.通勤 2.通学 3.買い物・私事 4.業務

<手段> 1.乗用車 2.バス 3.自動二輪（原付含む） 4.自転車 5.徒歩

⑧今日、この会場に来られた交通手段は、次のうちどれですか。

- 1.乗用車（ご自分で運転） 2.乗用車（同乗） 3.バス
4.自動二輪（原付含む） 5.自転車 6.徒歩 7.その他（ ）

⑨最後にお伺いします。行政機関を中心に、路面電車やガイドウェイバス等の新交通システムの導入や中心市街地活性化の議論が盛んに行われていますが、これらに対するご意見や都市交通・まちづくり全般に関するご意見等ありましたら、ご自由にお書き下さい。今後の活動の参考にさせていただきたいと思えます。

ご協力まことにありがとうございました。

分析結果は後日郵送いたします。差し支えなければ氏名と住所をご記入下さい。

この分析以外の目的には、一切使用いたしません。

お名前	[_____]
お住まい	〒 [_____]
	[_____] 市 町 村 [_____]